

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1110	1110	人権教育推進拠点づくり事業	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	05	05	社会教育費
			08	08	教育集会所費
担当部課名		教育委員会 八幡町教育集会所	102	102	教育集会所事業経費
作成者氏名	安永 幸二	連絡先 23-3157	細目	03	人権教育推進拠点づくり事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	地区小中学生及び高校生	地域の実態や歴史、生き方を学ぶことにより、自分達の地域や人に誇りを持ち、仲間とともに人権感覚を豊かにして、反差別の精神と差別解消の実践力をつけるとともに、自己実現が図れる。
本年度事業内容	①中学生地区学習会 ②高校生友の会研修	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等	伊賀市集会所条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.7	0.7	0.7
人件費合計(A)	5,040	5,040	5,040
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	831	604	604
委託料			
報償費	440	278	278
旅費	126	130	130
その他	265	196	196
合計(A+B)	5,871	5,644	5,644
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,871	5,644	5,644
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
中学生学習会(崇広中)	回	30	30	30			
中学生自習室(崇広中)	回	45	45	45			
中学生地区学習会(緑ヶ丘中)	回	37	37	37			
高校生友の会研修会	回	20	20	20			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
中学生の地区学習会への延参加者	各年度、参加者数維持を目標に取り組みを行う	名	1492 目標 ()	1500	1500
高校生友の会述べ参加者	各年度、参加者数維持を目標に取り組みを行う	名	80 目標 ()	80	80

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

学年が進級する毎に、参加率の伸びが実績に現れているが、中学1年生への啓発アプローチが課題である。
--

評価	必要性	4	中学生の地区学習会参加者の分析をしていくと、現在の3年生が2年生の時、1年生の時に比して、段々と参加率が上がってきているということが判り、必要性及び効果が窺い知れる。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		